

しゃっちょうは行く!

11

Broaden your horizons ⑪ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは! メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。さて、私は昨年、国際アカデミーに参加し、世界60カ国の青年経済人たちと出会いました。聞いたことのない国、3日かけて来てくれたアフリカ代表、そしてアイスランド代表は、「日本の暑さが信じられない〜」と言っていました。

日本では、男性が圧倒的に多い青年経済人ですが、代表が女性の国も多く、そこで私にお声がかかったのです。ホテルに1週間缶詰で、リーダーシップについて語り合いました。講義を聞いてチームに分かれてディスカッションです。私のチームのリーダーは、ジャマイカ代表で、みんなのことをよく考えてくれました。初日にみんなでゲームをしたのですが、国の代表として参加しているためでしょうか、勝つことに必死でした。しかし、彼は始めから、みんなの利益になるように考えて行動していたようです。みんなが勝つ方法を考えていました。国同士がつぶし合うのではなく、みんなが勝てればよいのです。敵も味方もないのです。地球として勝てばよいのです。彼から学びました。

え? もちろん共通語は英語です。そう、日本で開催なのに英語です。みんな母国語ではない英語を上手に使いこなしていました。大学を出て、英語を話せないのは日本人だけとある教授が言っていました。私? 私も日本人。一日目は全然だめでした。講義も英語(同時通訳付き)、ディスカッションも英語……。講義についていけず、ディスカッションにも入れず、内気な少女になってしまいました。しかし、2日目から「これじゃあいかん」と奮起しました。外国人メンバーに「ブリーズ、ショート&シンプル!」。これを機に、みんな短い文章で簡単に話そうとしてくれました。そして、わからなかったら顔をしかめる、わかったら顔くことにしたら、反応を見て話してくれるようになりました。お互い忍耐力が必要でしたが、伝わったときのうれしさから自然と忍耐力がついてきました。6時30分~23時30分まで毎日苛酷なセミナーでした。意見が合わずけんかもしました。しかし、苦しいときを一緒に超えたことで、結束力が生まれ、素晴らしいチームになりました。今でも60人とメールでやりとりをしています。

薬学教育も今、変換期でとても大変なときです。現場と教育、一緒に超えていきましょう。薬学全体に強い結束力が生まれ、素晴らしいチームとなるために!

追伸 8月22日(日)13時から「次世代の薬剤師を創る会」をメディセレで開催します。今回は、神戸大学薬剤部長の平井みどり先生に職能拡大のお話を、舞鶴共済病院循環器科主任部長の児島成之先生にフィジカルアセスメントを御指導いただきます。認定シールも3点もらえますので、当日お会いできますことを楽しみにしております。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子